

# レディース・フォーラム



町では、女性の視点からの声を大切に、住みよいまちづくりをすすめています。7月20日（火）、豊明館多目的ホールで『レディース・フォーラム』が開催されました。出席された皆さんは、女性の声としてさまざまな意見や要望を町に伝えていました。それでは、フォーラムの様様を一部ご紹介いたします。

よつこ、よつこ鶴田じいへ、他町村に誇れるまちづくりの心がけ、町民のご協力のもと共に知恵を出し合い、創意工夫をしながら効率的で持続可能な町政運営に努め、小さいながらもきりりと光るまちづくりを推進して参りたいと考えております。

Q 我家はリンゴ農家で、消費者へ直接販売もしています。お客様の多くは、生産者が分かる農産物を求めています。お客様と会っつきかけがあれば、こちらも生産に力が入りますし、販路意欲も増します。そのきっかけを作るのに県外への販売活動をする場所を開拓するのが大変なので、町の組織があれば参加する農家の方もあつたのではないかと考えています。どうかそのような場を作っていただけるとありがたいものです。

## A 【産業観光課長】

生産者自身が消費者と直接に接して販売することは、消費者に対して安心・安全な農産物をPRすることができるという、非常に有効な活動であります。

また、消費者の生の声を聞くことにより、消費者ニーズを反映した生産や販売方法にもつながるものと思います。

生産者自身が主体的に販売活動を行い、消費者との信頼関係を築



△会場の模様 女性ならではの意見が発言されました

A 【教育次長】  
現在、鶴田小学校児童の安全を確保するため、プレハブ校舎の建設に向けて作業を進めております。今年の12月頃までに完成させ、安全性の高い学習環境を整備することとしており、多少のご不便をおかけするとは感じますが、ご理解の程よろしくお願いたします。鶴田小学校の新築早期実現に関しましては、鶴田町管内における6小学校の児童数減少の推移および推移予想を見ながら、今後、学区編成の見直し等を検討し、新築を含めた統廃合等について計画検討する必要があると考えております。

県外への販売活動については、道の駅のネットワークがありますので、それらを活用した展開も可能であると思えます。

Q 鶴田小学校新築の早期実現を望みます。プレハブはあくまでも仮設校舎です。鶴田町の将来を担う子どもたち、無限の可能性を秘めている子どもたちのためにお願いたします。幅広い教育活動を体験させてやるような環境を与えていただきたいと思えます。



◎たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。

Q このまま合併しないで欲しいです。鶴田町にこだわりたいです。ぜひ鶴田の魅力をいかせたいです。

## A 【総務課長】

五所川原市との合併につきましては、町議会合併促進特別委員会を立ち上げ、更には両市町に

合併検討会を設置して協議を重ねましたが不調に終わり、昨年11月27日の町民への合併に関する協議結果報告会を開催した後、12月定例会をもちまして町議会合併促進特別委員会は解散いたしました。

今後は合併することなく、各種サービスの低下に繋がらないよう配慮しながら、ご提言に